



# JAL不当解雇撤回ニュース

No449号 2015.06.21  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.co>

## 全国18道府県で一斉要請

6月はJALと政府に不当解雇の撤回と争議解決を迫る集中月間でした。その一環として、6月9日、日本各地の空港支店に「解雇撤回・争議の早期解決に向けての話し合いを持つこと」を中心とした要請行動が実施され、その数は22箇所及びました。この事実は、早々にJAL本社へ報告されたようで6月11日の天王洲アイルのJAL本社要請では、いつもより多い社員の警戒対応でした。全国各地から日航包囲網を張り巡らし、本丸に決断を迫りましょう。

**秋田支店** 6月10日 11:00~11:30

門前払いを避けるため、秋田支える会役員である加藤麻理県議と伊藤教育会館理事長が個人的要請ということでアポを取り、田中支店長が対応。「皆さんの気持ちを植木社長に伝える」また本社回答を、県議に報告すると約束。

**秋田空港支店** 6月8日 15:00~15:15

支援者2名。  
会議中の丹羽空港所長が「本社への送付は検討させてください」とのこと。

**航空局新潟航空事務所** 6月22日 10:50~11:10

支援者5名、原告2名 計7名  
アポ無し要請に慌てふためくが、伊藤厚史総務課長が部屋で対応「上申する」とのこと。

**新潟空港支店** 11:20~11:40

角本卓所長がカウンター前で冷静に対応。会社から連絡を受けていたと思われる。「本社に上げる」とのこと。

**新潟労働局** 13:30~13:50

堀内英世主任労働基準観察監督官他1名が対応。「来られる目にHPをチェックした。憲法28条が更生会社においても有効であると確認した。知人の父親が123便で犠牲になった。上申するかどうかは検討する」と発言。

**大阪空港支店** 6月9日 10:00~10:30

支援者13名、原告5名 計18名  
部屋へは5名に制限される。アポを取っていたにもかかわらず、エスカレーター下で安藤総務部長他2名が対応。「支援者はJAL利用者ですよ」と言う。「では利用者向けの窓口に行ってください」又ILOや塩崎大臣の国会発言には「そういった細かい話はいいいから」と利用者に対してとんでもない上から目線。支援者からは「何十年も労働争議にかかわってきたが、こんな失礼な対応は初めて」「JALはJRより酷い」と支援者の声。安藤総務部長が本社への報告と要請書を送ると約束。

**釧路支店** 6月9日 14:00~14:15

支援者2名  
支店長は留守。日本通運社員は「立場上受け取れない」その後、名乗らない営業社員が仕方なく受け取った。

**小松空港支店** 6月9日 11:00

支援者1名  
子会社社員が事務所から「今ちょっと対応できません」との返事を聞いてきた。要請書と名詞を置いてきた。

**仙台空港支店** 6月11日

支援者2名  
上原所長は「アポ無し要請は正しいのか」と繰り返し返し、高圧的態度で聞く耳持たず。カウンターに置いた要請書をつっ返してきた。

**成田空港支店** 6月8日 11:00~11:50

支援者8名、原告2名 計10名  
「アポはないはず、お引き取りください」と追い払おうとする。「2度電話連絡したが、返事がなかった」と中へ入る。  
受付前で6名が上から目線の対応、まるでクレーマー対応のよう。「5分しか時間がない。社長宛なら本社へ行ってください」を繰り返した後「要請書を預かり空港支店長に委細を伝える」と武井総括マネージャー。「どういう人が解雇されたのか知らない」「稲盛発言?」「この要請は安全を守るためなのですね」と他人事のような発言に支援者から解雇問題は終わったとのJALの認識の酷さが分かったとの感想があった。



中部支店 6月9日 10:00~10:30  
名古屋支店 11:30~12:00

支援者3名

セントレア空港内事業所は総務中村・中里が対応。栄名古屋支店は高橋対応。

広島支店 6月12日 13:00

支援者2名

9日に島村支店長にアポとり電話すると「いつもなら対応するが、旭川転勤の引継ぎで留守。この問題は私たちが苦しい思いをした。自分たちの力ではどうすることもできないが、しかるべき部署に責任を持ってあげる。事務に渡してほしい」とのこと応答。

高松営業所 6月9日 14:00

支援者2名

委託窓口担当が「出かけている」との返事、要請書を依頼。

徳島空港支店 6月9日 14:00~14:20

支援者7名

「要請があったことは本社に伝える」と糸山所長。

福岡空港支店 6月10日 14:00~15:00

支援者7名、原告1名 計8名

松島総務 GRP 長他1名対応。名詞も切らしており、カウンター前で要請。「本社に問い合わせください」との返事。

宮崎支店 6月9日 9:30~9:45

支援者2名

支店長、営業所長対応。名詞を要求したが「責任を持って届けるから」と固辞。

鹿児島支店 6月9日 10:00~10:10

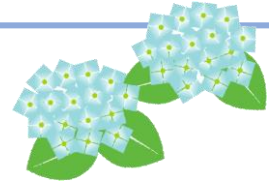
支援者2名

名刺受け取れず、責任者と補佐の対応。要請書はすんなり受け取り、「社長宛ですね？」と念押しされる。

岡山空港支店 6月9日 10:00

支援者3名

「両備フォールディングスはJALではない。趣旨は伝えるが要請書は受け取れない」と頑として拒否。「会社への苦情・要求は専用電話で受ける」と松山氏。争議内容については知らない様子。



松山空港支店 6月9日 11:00~11:15

支援者6名、原告2名 計8名

事前連絡にもかかわらず、支店長は現れず部屋も無し。越智総括マネージャー他1名対応「コメントする立場がない」としながら社長に伝えると発言。



【写真】上下とも松山空港ロビーでの要請行動のようす



長崎支店 6月9日

14:30~14:50

支援者1名

女性管理者2人が対応。きちんと話を聞き、要請書は受け取ったが理解したかどうか分からない。

沖縄支店 6月9日 11:00~11:15

支援者4名

総務課長目黒氏対応。「本社に渡します。全国では空港が窓口とのことだが、なぜうちに要請なのか」と聞かれる。

支援者の皆様、お忙しい中ご協力ありがとうございました。

利用者の立場として、1日も早く争議を解決させ、安全安心のJALの飛行機に気持ちよく乗りたいという熱意が、全国各地のJAL関係者に伝わったことと確信しております。

私たちは、6月17日の株主総会でも整理解雇問題は終わっていないことをアピールしました。

また6月18日の不当労働行為の高裁勝利判決は、165人の解雇が違法無効であったことを明らかにしました。全ての時流を追い風に、JAL包囲網を更に強めてまいります。